

第51期 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

公益財団法人 札幌交響楽団

公益財団法人札幌交響楽団は、定款第2章第3条に基づき、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上に関し、必要な事業を行い、もって札幌市及び北海道における文化と教育の振興に寄与することを目的とする事業を行った。

定款第2章第4条に掲げる事業を次のように行った。

平成22年度のオーケストラによる公演

(1) 札幌交響楽団を編成し、及び維持すること。

1. 評議員、役員等及び事務局

評議員19名、理事20名、監事2名、事務局員13名（4頁参照）

2. 交響楽団の編成

音楽監督、正指揮者、首席客演指揮者 各1名、楽団員76名

ステージスタッフ、ライブラリアン及びパーソネルマネージャー 計4名（5頁参照）

3. 音楽監督、正指揮者及び楽団員は、次の回数の公演に出演し練習に従事した。

音楽監督 出演回数 31回（他CD非公開録音）、練習日数 26日

正指揮者 出演回数 31回、練習日数 25日

首席客演指揮者 出演回数 3回、練習日数 6日

交響楽団としての出演回数は合計130回、練習日数117日

この他小編成による教育や福祉関係の活動66回

(2) 交響管弦楽の演奏を行うこと。

1. 自主公演

【定期演奏会】

平成22年4月から平成23年3月までに1プログラムにつき2回ずつの公演を実施、計20公演実施した。

定期演奏会は札幌交響楽団の活動の主軸になる公演。尾高が4回、高関が2回指揮したほか、優れた指揮者、共演者とともに、多彩な曲目を、持てる力を出し切った演奏で披露、高い評価が得られた。

【名曲シリーズ】

平成22年6月から平成23年2月までに4公演実施した。

名曲シリーズは、初心者でも楽しめる曲目を廉価に提供、毎回定期演奏会なみの水準の演奏ができ、多くのファンの支持を得た。

尚、22年度自主公演はここ数年内で最高の入場者数を記録、6万人を突破した。

【特別演奏会】

札幌市内で12公演、北海道内地方で5公演、道外では東京で1公演、計18公演実施した。

○札幌市内公演

1. アキラさんのモダンコンサート 2010 4月28日
2. シンフォニック・ブラス 2010 5月30日
3. リクエスト・コンサート～三大ピアノ協奏曲～ 7月14日・・・新企画
- 4.5. ポップス・コンサート Vol.8 (2公演) 7月21日
6. 「海の日」記念札幌チャリティー・コンサート 7月23日・・・新企画
- 7.8. アキラさんの大発見コンサート 2010 (2公演) 8月10日
9. コバケンの「未完成」「運命」「新世界」 8月12日・・・新企画
10. Kitara&札幌セレクション「北の精鋭アーティストたち」 11月22日
- 11.12. 札幌の第9 (2公演) 12月25日、26日

○北海道内地方公演

札幌交響楽団は北海道唯一のプロオーケストラとして、道内各地で活動することも重大な使命である。22年度も初めて訪問した東神楽町をはじめ各地に活気と賑わいをもたらすことに成功した。

1. 東神楽公演 5月9日
2. 鹿追公演 7月17日
3. 室蘭公演 10月7日
4. 浦河公演 1月18日
5. 小樽公演 1月23日

○東京公演 (ホクレン・クラシック・スペシャル 2011) 3月1日

尾高の指揮で、23年度のヨーロッパ公演と同じシヨスタコーヴィチ「第5番」をメインにしたプログラムを披露、満員のサントリーホールで絶賛を博しました。

2. 依頼公演

各種団体、企業、自治体などが主催する演奏会に依頼に応じて出演。(計52回)

○札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27回

○北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25回

北海道新聞社、北海道電力、キタラはじめ多くの企業団体の支援を受けて開催。

(3) 青少年の音楽鑑賞及び演奏に関し、指導を行い、その普及を図ること。

オーケストラによる音楽教室を次のとおり開催。(計36回)

○札幌市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20回

○北海道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11回

○北海道外公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5回

楽団員によるワークショップ(体験型音楽教室)では、小学生と音楽を通して交流を深め、鑑賞だけでなく演奏に参加して得られる感動も広めることができた。(計29回)

○ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20回

○楽器講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9回

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

50周年記念事業

○「50周年記念演奏旅行」の準備

平成23年度に予定するヨーロッパ演奏旅行を成功させるためドイツ、イタリア、イギリスで広報宣伝活動と下見、打合せを行った。海外の主催者、協力者への働きかけ、寄付金等の協賛依頼等の広報、宣伝のために札幌のCDは大いに役立った。

○記録録音の整理

創立以来、録音してきた札幌の演奏記録を整理し、デジタル化、永久保存できるように丁寧に作業を進めている。

○「札幌合唱団」の育成

平成18年度に設立、育成してきた「札幌合唱団」は、22年度はさらに成長し、聴衆、評論家から高く評価された。

○「札幌50周年記念誌」の編纂

創立50周年を迎える平成23年の完成を目指して「札幌交響楽団50年史」のための取材と編纂を行い、創立以来の記録、資料など、北海道の音楽文化そのものである札幌交響楽団の歴史を記録。

その他の広報宣伝活動

○プログラムの発行

定期演奏会ははじめ自主公演では毎回、音楽評論家等による研究論文、楽曲解説、楽団の活動報告、楽団員紹介を載せたプログラムを発行、公演来場者及び会員、関係先に配布。

○ニュースレターの発行

札幌交響楽団の活動報告、公演案内など、最新情報を掲載したニュースレターを年に4回発行。

○ホームページによる広報

札幌交響楽団の最新情報を流し、チケット予約を受け付けるほか、定期会員・パトロン・ジュ会員の入会案内を行った。

その他の演奏事業

○アンサンブル（19回）

聴衆開拓のために楽団員によるアンサンブル演奏会を開催。コンサートホール以外の様々な場所でも演奏することによって、クラシック音楽に縁がなかった人にも札幌の存在をアピールした。

○慰問演奏（18回）

障害者施設、特別支援学校、老人ホームなどに楽団員が出向き、コンサートに出かけることのできない方々に音楽鑑賞の機会を提供、社会貢献活動を積極的に行なった。

札幌交響楽団

| | | | | | |
|-----------|--|--------|---|-------------|---|
| 音楽監督 | 尾高 忠明 | 正指揮者 | 高関 健 | 首席客演指揮者 | ラドミル・エリシュカ |
| コンサートマスター | 大平 まゆみ 特別契約 伊藤亮太郎 特別契約 三上 亮 特別契約 | チェロ | 荒木 均 石川 祐支 首席・特別契約 角野 友則 猿渡 輔 武田 芽衣 副首席 坪田 亮 廣狩 理栄 文屋 治実 | トランペット | 佐藤 誠 福田 善亮 首席 前川 和弘 松田 次史 副首席 |
| ヴァイオリン | 東口(佐々木)倫子 石原ゆかり 市川ウインチェンツォ 井上 澄子 大森 潤子 首席・特別契約 岡部亜希子 織田美貴子 河邊 俊和 小林美和子 副首席 佐藤 郁子 多賀 万純 竹中 遥加 土井 奏 インスペクター 富田麻衣子 中村菜見子 橋本 幸子 福井 岳雄 三原 豊彦 山下 暁子 横井 慎吾 | コントラバス | 飯田 啓典 大澤 敬 斎藤 正樹 副首席 助川 龍 首席 鈴木 祐治 信田 尚三 | トロンボーン | 田中 徹 中野耕太郎 副首席 山下 友輔 首席 |
| | | フルート | 高橋 聖純 副首席 森 圭吾 首席 山崎 衆 | バスロンボーン | 野口 隆信 |
| | | オーボエ | 岩崎 弘昌 首席 高井 明 宮城 完爾 副首席 | テューバ | 玉木 亮一 |
| | | クラリネット | 多賀 登 副首席・インスペクター 三瓶 佳紀 首席 | ティンパニ、打楽器 | 大垣内英伸 大家 和樹 藤原 靖久 副首席 武藤 厚志 首席 |
| | | | | | 楽団員計76名 |
| ヴィオラ | 荒木 聖子 遠藤 幸男 小峰 航一 首席 仁木 彩子 橋本純一郎 廣狩 亮 首席・特別契約 水戸 英典 三原 愛彦 物部 憲一 | ファゴット | 坂口 聡 首席 夏山 朋子 村上 敦 副首席 | パーソナルマネージャー | 吉岡 幹雄 |
| | | ホルン | 市川 雅敏 岩佐 朋彦 副首席 折笠 和樹 菅野 猛 島方 晴康 橋本 敦 首席 | ステージマネージャー | 田中 正樹 |
| | | | | ステージスタッフ | 松本 了英 |
| | | | | ライブラリアン | 中村 大志 |
| | | | | | スタッフ計4名 |

(平成23年3月現在)

公演回数及び入場者数 実績推移表

公益財団法人札幌交響楽団

フルオーケストラ

(平成23年4月22日作成)

| | | | H 15年度 | | H 16年度 | | H 17年度 | | H 18年度 | | H 19年度 | | H 20年度 | | H 21年度 | | H22年度 | | H23年度計画 |
|------|------|----|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|-------|---------|---------|
| | | | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 |
| 自主公演 | 定期公演 | 市内 | 11 | 15,983 | 11 | 16,156 | 20 | 26,149 | 20 | 28,477 | 20 | 29,320 | 20 | 29,187 | 20 | 28,593 | 20 | 28,648 | 20 |
| | 特別公演 | 市内 | 10 | 13,476 | 12 | 20,443 | 15 | 22,410 | 15 | 25,543 | 12 | 20,484 | 13 | 22,199 | 13 | 23,192 | 16 | 27,333 | 16 |
| | | 道内 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1,178 | 2 | 2,275 | 4 | 2,634 | 5 | 4,936 | 10 | 6,056 | 5 | 3,378 | 5 |
| | | 道外 | 1 | 1,922 | 2 | 2,483 | 1 | 1,838 | 1 | 1,646 | 1 | 1,662 | 1 | 1,177 | 1 | 1,350 | 1 | 1,839 | 1 |
| | 小計 | | 22 | 31,381 | 25 | 39,082 | 37 | 51,575 | 38 | 57,941 | 37 | 54,100 | 39 | 57,499 | 44 | 59,191 | 42 | 61,198 | 42 |
| 依頼公演 | 市内 | | 44 | 65,504 | 39 | 57,946 | 24 | 42,046 | 34 | 56,485 | 23 | 44,196 | 25 | 49,928 | 27 | 43,379 | 27 | 41,017 | 22 |
| | 道内 | | 31 | 25,102 | 34 | 25,080 | 27 | 21,507 | 28 | 22,405 | 29 | 25,136 | 23 | 15,252 | 22 | 16,478 | 25 | 17,936 | 23 |
| | 道外 | | 1 | 900 | 3 | 1,922 | 5 | 5,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 569 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 小計 | | 76 | 91,506 | 76 | 84,948 | 56 | 68,653 | 62 | 78,890 | 52 | 69,332 | 49 | 65,749 | 49 | 59,857 | 52 | 58,953 | 46 |
| 音楽教室 | 市内 | | 3 | 3,244 | 15 | 22,388 | 16 | 22,023 | 14 | 20,959 | 16 | 22,013 | 19 | 26,683 | 15 | 20,300 | 20 | 24,355 | 15 |
| | 道内 | | 12 | 10,830 | 9 | 12,267 | 7 | 8,350 | 12 | 11,681 | 9 | 8,112 | 13 | 10,205 | 10 | 7,108 | 11 | 7,645 | 9 |
| | 道外 | | 0 | 0 | 2 | 1,282 | 0 | 0 | 3 | 1,598 | 10 | 4,183 | 4 | 1,291 | 4 | 2,158 | 5 | 2,248 | 8 |
| | 小計 | | 15 | 14,074 | 26 | 35,937 | 23 | 30,373 | 29 | 34,238 | 35 | 34,308 | 36 | 38,179 | 29 | 29,566 | 36 | 34,248 | 32 |
| 合計 | | | 113 | 136,961 | 127 | 159,967 | 116 | 150,601 | 129 | 171,069 | 124 | 157,740 | 124 | 161,427 | 122 | 148,614 | 130 | 154,399 | 120 |

韓国公演(福岡含め3公演)は除く

50周年公演(帰国記念含め6公演)は除く

小編成(アンサンブル)

| | | | H 15年度 | | H16年度 | | H 17年度 | | H 18年度 | | H 19年度 | | H 20年度 | | H 21年度 | | H22年度 | |
|-----|--------|--|--------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | | | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 | 公演回数 | 入場者数 |
| 小編成 | 音楽教室 | | 6 | 記録なし | 30 | 5,121 | 37 | 6,012 | 19 | 3,772 | 40 | 3,895 | 27 | 3,383 | 27 | 3,045 | 29 | 2,842 |
| | アンサンブル | | 62 | 記録なし | 49 | 33,170 | 37 | 8,100 | 24 | 5,900 | 19 | 24,550 | 13 | 2,480 | 17 | 6,520 | 19 | 5,530 |
| | 慰問演奏会 | | 11 | 記録なし | 11 | 1,850 | 14 | 2,330 | 15 | 2,710 | 17 | 2,270 | 16 | 2,170 | 17 | 1,850 | 18 | 2,350 |
| 合計 | | | 79 | 記録なし | 90 | 40,141 | 88 | 16,442 | 58 | 12,382 | 76 | 30,715 | 56 | 8,033 | 61 | 11,415 | 66 | 10,722 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|--|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|
| 総計 | 192 | | 217 | 200,108 | 204 | 167,043 | 187 | 183,451 | 200 | 188,455 | 180 | 169,460 | 183 | 160,029 | 196 | 165,121 |
|----|-----|--|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|

会員状況推移表

| 年度末現在 | H 15年度 (16.3.31) | H 16年度 (17.3.31) | H 17年度 (18.3.31) | H 18年度 (19.3.31) | H 19年度 (20.3.31) | H 20年度 (21.3.31) | H 21年度 (22.3.31) | H 22年度 (22.3.31) |
|------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 定期会員数 | 1,363 | 1,364 | 1,947 | 2,022 | 2,100 | 1,963 | 1,911 | 1,973 |
| 維持会員数 (パートネーション会員数) | 法人 | 262 | 272 | 285 | 282 | 290 | 261 | 254 |
| | 個人 | 224 | 225 | 223 | 214 | 197 | 192 | 186 |
| | 合計 | 486 | 497 | 508 | 496 | 487 | 453 | 440 |

札幌交響楽団 平成22年度活動報告



平成23年4月26日作成

公益財団法人 札幌交響楽団

札幌市中央区中島公園1-15

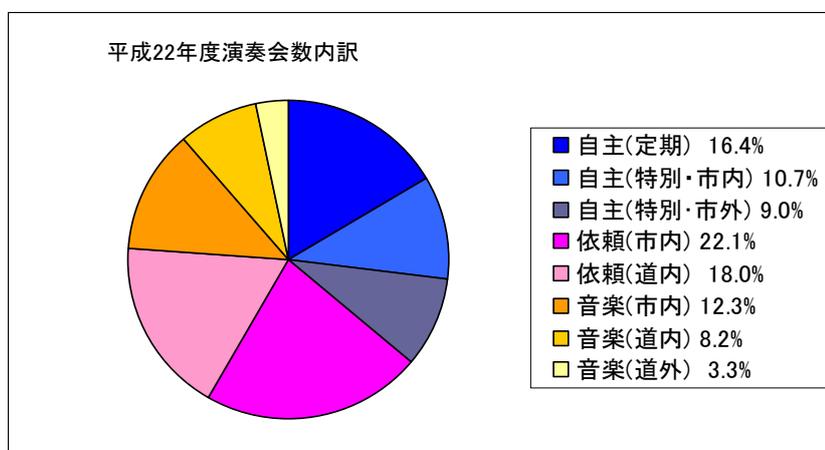
札幌コンサートホール内

<http://www.sso.or.jp>

札幌交響楽団の活動

オーケストラ演奏会 計130公演

| | |
|--------------|-------|
| ■ 自主公演(42公演) | 36.1% |
| 定期演奏会 | 20公演 |
| 名曲シリーズ | 4公演 |
| 特別演奏会 | 18公演 |
| ■ 依頼公演(52公演) | 40.1% |
| ■ 音楽教室(36公演) | 23.8% |



教育・地域活動、アンサンブル演奏 計 66公演

総計 196公演

自主公演 札幌が主催する演奏会です。

- 定期演奏会 年10回 20公演
- 名曲シリーズ 年 4公演
- 特別演奏会 年18公演

札幌シンフォニック・ブラス

札幌の第9

アキラさんのコンサート(モダン、大発見)

札幌ポップスコンサート

「海の日」記念チャリティコンサート<新企画>

リクエストコンサート～3大ピアノ協奏曲<新企画>

コバケンの「未完成」「運命」「新世界」<新企画>

東京公演～ホクレン・クラシック・スペシャル～

道内公演～小樽、東神楽、鹿追、室蘭、浦河など



マーラー生誕150年記念年として、9月定期演奏会にはマーラーの交響曲第3番を演奏

22年度も、札幌50周年記念北海道ツアーとして、東神楽町など札幌が初めて訪れる町も含め道内各地で、地元と連携しての自主公演を積極的に開催しました。



札幌50周年記念・北海道ツアー&鹿追町90周年として開催の鹿追町演奏会

依頼公演

企業、自治体などの依頼
で演奏会を提供しました。

■ 札幌市内公演

全27公演

PMF主催(2公演)

Kitara主催(4公演)

ほくでんファミリーコンサート(市内2公演)

他、札幌、道銀、HBA、999人の第9、
さっしん、HTB、さぽーとさっぽろ、
全道バレエ等の主催による公演



PMF2010ピクニックコンサート(札幌芸術の森野外ステージ)

■ 道内各地の公演

全25公演

ほくでんファミリーコンサート(道内9公演)

北海道新聞社との共催(道内10公演)

栗山、釧路、稚内、江別、北広島、
恵庭、苫小牧、千歳、函館、帯広
弟子屈、網走、清水

道教職員厚生会による演奏会(豊頃)

グリーンコンサート(岩見沢) 等

市内公演では、Kitara主催により好評の
Kitaraファーストコンサートの大人版「大人
のためのファーストコンサート」を新たに開
催。好評を博す。

また、道内公演では、毎年開催の各地に
加え、「清水町の第9」に10年ぶりに出演。



楽団員がソリストを務めた
ほくでんファミリーコンサート(福島町総合体育館)

音楽教室

青少年向けに音楽の楽しさを伝えました。

■ Kitaraファーストコンサート / 広域圏ジュニアクラシック

札幌市内の全小学6年生を対象としたKitaraファーストコンサートでは約14,000人が演奏会を鑑賞。
さらに札幌市広域圏組合主催により近隣市町を対象としたコンサートも定着しています。

■ ジュニアクラシック

旭川、登別、恵庭、苫小牧、小樽、音更で例年どおり道新などの支援を受けながら開催。また、札幌50周年記念北海道ツアーとして、和寒町、古平町でも初開催となりました。
そのほか、Kitaraで高校生を対象とした鑑賞教室なども開催しました。

■ 文化庁主催・子どものための優れた 舞台芸術体験事業

文化庁主催により北海道、東北の小学校など全12校を訪問。
楽団メンバーによる事前訪問により期待感を高めた上で、後日オーケストラの演奏会を行い、鑑賞体験をより深める工夫をしました。



学校の体育館での演奏会



事前訪問では、少人数で手拍子など音楽を体感するプログラムを実施

教育・地域活動、 アンサンブル演奏会



公立特別支援学校や各地の福祉施設での訪問演奏を年間18回実施。



赤平など産炭地4市を訪問したときには閉校間近の学校で校歌を演奏。



JR札幌駅の妙夢コンサートほか、市民生活の中に音楽を届けるアウトリーチ活動を積極的に展開。



ドレミの箱音楽教室などで、吹奏楽のクリニックを道内各地で実施。

“平成23年=50周年”からその先へ 様々な試みに挑戦しています。

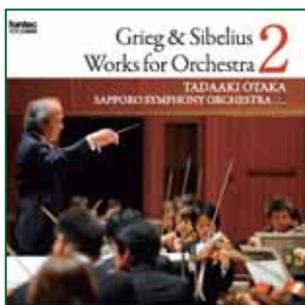


←夏の特別演奏会を新企画として2公演開催。リクエストを募るなど、新たな試みが好評を得て、平成22年度の最高入場者数を記録しました。

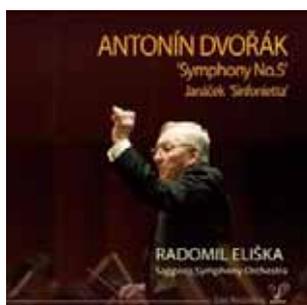


↑ 札幌コンサートホールとの共同企画で、地元若手演奏会の育成を目指した「北の精鋭アーティストたち」を実施。平成23年度に早速、パートⅡの開催が決まりました。

札幌の指揮者が三人三様の内容で立て続けにCDをリリース。いずれも、専門誌で高い評価を得て、札幌の名声を全国で高めました。それにもない、平成23年=札幌50周年のベートーヴェン・ツィクルスのCD収録への期待はいよいよ膨らんでいます。



尾高忠明指揮 22年6月収録
「グリーゲ & シベリウスⅡ」
23年1月レコード芸術特選盤



R. エリシュカ指揮
「シンフォニエッタ」22年4月収録
23年1月レコード芸術準特選盤



高関健指揮
「カルミナ・ブラーナ」21年6月収録
22年4月レコード芸術特選盤